

令和5年度東大和市小学校教育研究会理科部研究主題
「楽しさや驚きを通して、学ぶ喜びを味わえる理科学習」
～主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善～

理科では、児童にとって身近な自然を対象とし、科学的な手続きを経て、概念を構成する学習活動が求められる。子供たちが課題を捉え、それを進んで解決したいという意欲をもって学習を進めたいと考え、本研究主題を設定した。

新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」という視点が示されている。私たちは、本市の児童の実態として、教師から与えられた問題や実験を行うことが多く、考察で何を書いてよいか分からない児童や学んだ内容を実生活につなげて考えることができない児童がいることが挙げられる。また、学ぶ喜びを味わう過程で、友達との共同的な学習を行うことが必要と考え、伝えるべき自分の考えをもつ「自己との対話活動」や、児童それぞれの考えを比較・検討する「相手との対話活動」を充実させていくことにより、深い学びにつながっていくと考えた。

そこで、以上のところから、今年度理科部では、主体的・対話的で深い学びの視点を以下のようにおさえ、授業改善を図ることとした。

深い学び …「見方・考え方」を働かせ、資質・能力を身に付けると共に、それを次の学習や日常生活における問題発見・解決に活用する。

主体的な学び…問題を見出し、見通しをもって観察・実験の計画を立案したり、得られた知識を基に、次の課題を見出したりする。

対話的な学び…課題の設定や実験計画の立案、観察・実験の結果の処理などの場面で、あらかじめ個人で考え、その後互いに、意見を交換し、より妥当な考えにする。

令和5年度 研究計画

- 11月 8日 指導案検討会・模擬授業
- 12月 6日 第2回 研究授業（第一小学校）
- 1月17日 研究のまとめ
- 2月14日 研究発表会（理科部の発表は無し）